

## IGES-JISE市民環境フォーラム

### 「命を守る森の防潮堤」－これからの展望－のご案内

#### 【開催概要】

開催日時:2014年3月16日(日) 13時00分～17時00分

開催場所:横浜国立大学教育文化ホール

参加費 :無料(但し事前登録が必要)

主 催:公益財団法人地球環境戦略研究機関・国際生態学センター

共 催:自然環境復元学会・NPO法人国際ふるさとの森づくり協会

#### 【開催目的】

東日本大震災発生から3年を経過しました。国際生態学センターでは三菱商事復興支援助成金やトヨタ財団の支援を受けて、青森県から茨城県の太平洋沿岸(被災地域)の植生調査を行い、津波が植物に与えた影響を調べ、これからの海岸保安林(防潮林)に適する樹種の選定などを行ってきました。

センター長の宮脇は4月7日に被災現場に入り、異臭を放つ瓦礫の山と、破壊された防波堤、なぎ倒されたマツ林の防潮林を目にしました。その時発想した「瓦礫を活かした命を守る森の防潮堤」構想は、一步一步着実に進み始めました。

今回のフォーラムでは、いち早く市復興事業に取り入れ、復興予算獲得の第1号となった「千年希望の丘」事業を推進している岩沼市の関係者をお招きし、これからの海岸整備についてお話し頂くとともに、「いのちを守る森のプロジェクト」により、巨大津波に対応できる海岸線を創りだし、緑景観の再生と地域経済振興のモデルをつくるため本シンポジウムを開催します。

#### 【プログラム】(予定)

12時30分 開場

13時00分～13時05分 主催者挨拶

13時05分～14時00分 講演「千年希望の丘」構想の実現と課題

講師:岩沼市復興整備関係者

14時00分～14時30分 講演「現地調査から見えてきた被災後の海岸林・海岸植生の実情」

講師:村上 雄秀(国際生態学センター専門研究員)

14時30分～15時30分 講演「いのちを守る森の防潮堤」

講師:宮脇 昭(国際生態学センター長)

15時30分～15時45分 一 休 憩 一

15時45分～17時00分 パネル討論「これからの防潮堤はどうあるべきか」

司 会 :新川 眞(国際生態学センター)

出席者 :宮脇 昭(国際生態学センター長)

:岩沼市復興整備関係者

:村上 雄秀(国際生態学センター専門研究員)

17時00分 閉会

#### 【申込先】氏名・住所・電話・参加人員を記入の上下記まで申込下さい

(公財)地球環境戦略研究機関・国際生態学センター

〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20

TEL:045-322-1223 FAX:045-322-1225 Mail:ecoinfom@jise.jp